



平成29年度マイミュージアムギャラリー第4回展示

齋藤美術館 移動展

郡上ゆかりの
茶道具コレクション



●一行書「夢」
江月宗玩(大徳寺156世)



●肩衝茶入 野々村仁清

平成29年11月11日(土)～12月28日(木)



●菊桐蒔絵棗 中村宗哲



●左:黒楽茶碗 銘 夜の梅 楽旦入
右:赤楽茶碗 銘 木の間の紅葉 楽旦入

あいさつ

当家は江戸時代より270余年にわたり、茶人として代々書画・茶道具を中心とした美術工芸品を蒐集、愛用してきました。古い物には二度と作ることができない歴史の重み、裏付けがあります。これを後世に伝えるのが、今を生きる私どもの任務であり、責任だと思い、1987年(昭和62年)に美術館を開設いたしました。

今回は当館が収蔵するコレクションの中から、名古屋の茶道の一派である松尾流の松尾半古斎の掛け軸をはじめ、茶椀や茶入れ、棗などの茶道具を中心に展示いたします。当家がどのように京都や名古屋の茶道の家元と交流をもちながら、小京都「郡上八幡」と呼ばれる文化の形成に寄与したのかを紹介します。

「茶の湯」のもてなしの心を感じ取っていただければ幸いです。

齋藤美術館／館長 齋藤 仁司(郡上市在住)